

## 議 事 録

会議名	山梨がんピアサポート希望の会 第117回定例会
日時	2021年10月31日 10:00~12:00
場所	山梨大学医学部地域医療学講座設定 zoom
参加者 イニシャル	N.M K.M H.K M.M K.K K.M Y.Y H.R A.H N.H M.H H.K K.M W.N (計14名) オブザーバー：山梨大学医学部地域医療学講座 佐藤 弥 教授

議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、あいさつ</li> <li>2、最近どう？</li> <li>3、司会進行自薦・他薦</li> <li>4、事例検討</li> <li>5、山梨の「がんリハビリテーションネットワーク協議会」からの報告</li> <li>6、その他</li> <li>7、佐藤教授からの総括</li> </ol>
-----	--

議事内容	
1. について	<p>コロナ感染が落ち着いてきているが、感染対策は抜かりなくしましょう！</p>
2. について	<p>各自近況報告。全体的に、コロナ禍からの脱出傾向が見られた。県をまたぐ移動も、慎重に行いつつあり、人流を伴う活動が行われ始めている気配を感じた。</p>
3. について	<p>自薦でKさんが引き受けてくれた</p>
4. について・・・3例あり	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 乳がん患者へのサポート事例。相談者は女性サポーターのみを希望された。背景に、家庭環境が見え隠れしているとの意見も合った。</li> <li>② 男性の血液疾患患者からの相談。体験者との会話を強く希望された事例</li> <li>③ 乳がん再発・転移の女性で、同じような体験をしているサポーターと話がしたかったという事例 それぞれ60分程度の電話でのサポートとなったことも共有した。</li> </ol>
5. について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ がんのリハビリテーションに関心を寄せる医療従事者は一定数いて、メンタルケアも「がんのリハビリテーション」だと捉えている。</li> <li>・ リンパ浮腫も大切ながんリハビリテーションとして取り上げたいと思っている</li> <li>・ 在宅でも訪問がんリハビリテーションをしたいと思う医療従事者も一定数いる</li> <li>・ がんであってもより快適な療養生活を送ることができるようにしたいと想っている</li> <li>・ がんリハビリテーションに関心を持つ医療従事者が多くいて、良いスタートになっていることを情報共有した。</li> </ul>

- ・ 県に対し、今後はがんリハビリテーションに関する広報活動にも力を入れてほしいと伝えた

#### 6, について

① 12月5日(日)「のぞみの会リアル交流会」開催 交流ルーム101 13:00~16:00

参加者は次回定例会までにメール担当者にお申し出ください。

当日参加もOKですが、感染対策のためなるべく事前にお申し込みください。

② 12月4日(土)がんフォーラム山梨完全オンライン公開講座

テーマ:『AYA世代のがんと成人に多いがん・肺がんそして治療とお金』の話です。

申し込みは「NPO法人がんフォーラム山梨ホームページからできます。

事務局花水木からでもOKです: hanamizuki@theia.ocn.ne.jp

③ FFJCP 参加希望者: 2名決定

#### 7, 佐藤先生総括

都会とは違う山梨県特有の環境の中、がん体験者によるサポートができることは貴重なこと。この場を大切に育ててほしい。

また、定例会も感染症の状況を見ながら、リアル定例会を検討しても良い時期に来たかもしれない。

今後の感染症の状況を見ながらみんなで検討していきましょう。

定例会 次回予定	第118回定例会 2021年 11月28日(日) 10:00 ~12:00 URLは追って連絡
-------------	--

司会: K.M

文責: わかお